



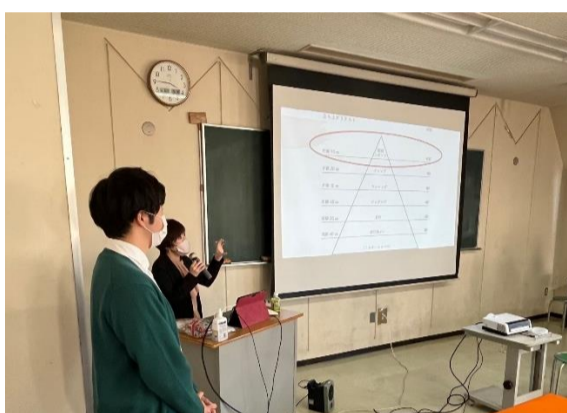
スポーツ理学療法学の授業の様子

今回は12月6日（火）に実施したスポーツ理学療法学の講義の様子を紹介します。

理学療法士科に入学してくる学生の多くは、中高生の時にスポーツで怪我をして、理学療法士の仕事を知ることが多い状況です。そのため、このスポーツ理学療法学の講義は学生が最も楽しみにしている講義の一つです。

今回は別府市のしん整形外科リハビリテーション&スポーツクリニック リハビリテーション部部長の中村妃与子先生、小岩 京士郎先生に講義をしていただきました。お二方共に本校の卒業生になります。

講義では中村先生が高校の部活動トレーナーとして行っている活動や、女性アスリートに対する取り組み、ウィメンズヘルス理学療法（女性特有の体の構造や役割、性差に注目した理学療法）についてお話がありました。



実技では、問診の仕方、呼吸評価、打診での評価や身体所見の取り方等を交えながら、大変分かりやすい講義をしていただきました。



講義を聴講し、改めてスポーツ理学療法分野に進みたいと思う学生が増えたようです。先生方、お忙しい中ありがとうございました。